

## 監査公表第6号

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定に基づく審査を実施したので、その規定に基づき、財政健全化判断比率及び経営健全化資金不足比率等の審査結果を下記のとおり公表する。

平成30年(2018年)8月17日

湖南省監査委員 渡邊悦夫  
同 望月卓

### 財政健全化判断比率審査結果

#### 第1 審査の概要

この財政健全化判断比率審査は、市長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

#### 第2 審査の結果

##### (1) 総合意見

審査に付された健全化判断比率は、下記のとおりいずれも早期健全化基準を下回っており問題なく、及びその算定の基礎となる事項を記載した書類も適正に作成されているものと認められる。

記

(単位:%)

健全化判断比率名	平成29年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	—	13.01
② 連結実質赤字比率	—	18.01
③ 実質公債費比率	9.70	25.00
④ 将来負担比率	62.90	350.00

(注)「—」の表示は実質赤字額及び連結実質赤字額がないことを示す。

##### (2) 個別意見

##### ① 実質赤字比率について

平成29年度の実質赤字比率は前年度から引き続き、マイナス数値(黒字を意味するので「—」と表示)となっており、早期健全化基準の13.01%と比較すると、これを下回り良好な状態にあると認められる。

② 連結実質赤字比率について

平成29年度の連結実質赤字比率は前年度から引き続き、マイナス数値(黒字を意味するので「-」と表示)となっており、早期健全化基準の18.01%と比較すると、これを下回り良好な状態にあると認められる。

③ 実質公債費比率について

平成29年度の実質公債費比率は9.7%と前年度より0.9ポイント下降したが、早期健全化基準の25.0%と比較しても、これを下回っているところであり、今後は改善維持に努められたい。

④ 将来負担比率について

平成29年度の将来負担比率は62.9%と前年度より1.7ポイント下降したが、早期健全化基準の350.0%と比較しても、これを下回り良好な状態にあると認められる。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。

## 経営健全化資金不足比率等審査結果

### 第1 審査の概要

この経営健全化資金不足比率等審査は、市長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

### 第2 審査の結果

#### (1) 総合意見

審査に付された資金不足比率は、下記のとおりいずれの会計も経営健全化基準を下回っており問題なく、及びその算定の基礎となる事項を記載した書類も適正に作成されているものと認められる。

#### 記

(平成29年度決算に基づく資金不足比率)

(単位:%)

特別会計の名称	資金不足比率	備考
下水道事業会計	—	令第17条第1号の規定により事業規模を算定
水道事業会計	—	令第17条第1号の規定により事業規模を算定

(注)「-」の表示は実質赤字額及び連結実質赤字額がないことを示す。

(2) 個別意見

平成29年度の実質的な資金不足額は発生しておらず、前年度と比較して資金剰余額は増加しており、良好な状態にあると認められる。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。